

令和8年度 Nara for Culture 事業計画

- 令和8年「Nara for Culture」の実施方針
- 「ムジークフェストなら2026」～年間計画～（案）
- 令和8年「ムジーク・サポート」音楽活動への支援（案）
- 令和8年 広報計画（案）



Nara for Culture

3年目

奈良を“クリエイティブ・アーティストが集まる場”へ

⇒ 「若者等が音楽など創作活動に挑戦・成長できる土地」
になることを目指し、継続実施

15年目
(14回目)

【1】音楽祭「ムジークフェストなら2026」

＜実行委員会主催公演(5月中旬～6月中旬)＞

New 日本センチュリー交響楽団公演

New うたたねクラシック公演 等

※ 未就学児等へのアウトリーチ公演は **廃止**

＜民間等主催公演(5～12月)＞

- ・県内ホール、カフェ、まちなか等で開催される
連携・まちなかコンサート

3年目

【2】音楽活動への支援「ムジーク・サポート」

＜中・長期的に実施＞

- ・滞在型演奏指導の開催
- ・ムジーク・アーティストベースの運営
- ・練習場所の提供



【3】Nara for Cultureの広報

以下について広報を展開

- ・「ムジークフェストなら2026」
- ・民間等主催公演との連携
- ・「ムジーク・サポート」

- 実行委員会主催企画は、“クラシック音楽鑑賞が身近に”なるよう企画し、“奈良らしい場所での公演”等を継続。
引き続き“春”(5月中旬～6月中旬)の期間に集中開催。
- 民間等主催音楽イベントとの広報連携は、5月から12月まで実施。

下記3つのポイントで実行委員会企画を構成

①奈良を拠点に活躍する音楽家・オーケストラの招致

【有料公演】

- ・奈良フィル&公募合唱団
- ・JNO公演（ベルリン・フィルメンバー客演予定）

【無料公演】

- ・奈良で活動する次代を担う演奏家
(NfC 2024推薦アーティストによるオムニバス公演)

②音楽鑑賞を身近に(文化活動の裾野を広げる)

【有料公演】

- ・日本センチュリー交響楽団公演
- ・うたたねクラシック公演（有名人MCによるコンサート）

【無料公演】

- ・ストリートコンサート ※まちかどコンサートから改称
- ・クラシック入門コンサート
- ・社寺等のユニークベニュー公演

③学生が主役のユースコンサート

【無料公演】

- ・0歳からのクラシックコンサート
- ・あおぞら吹奏楽

凡例	有料主催公演 @会場名	無料主催公演 @会場名	他団体主催	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開催イベント】	広報・準備期間	ムジークフェストなら2026			実行委員会主催 “クラシック音楽の音楽祭”							
		① 奈良フィル & 公募合唱団 @DMG郡山城ホール ② 日本センチュリー @榎原文化会館 ① JNO @春日野国際フォーラム～豊～ ② うたたねコンサート (有名人MCあり) @かしはら万葉ホール ② ストリートコンサート ① NFC 2024推薦アーティスト公演 @なら100年会館 ② クラシック入門公演 ユニークバニョー公演 ③ 0歳からのコンサート (ジュニオケ) @榎原文化会館 ③ あおぞら吹奏楽公演 @あすか風舞台			民間等主催公演との広報連携を継続 【R6年度】 313公演 【R7年8月末時点】 216公演							
連携・まちなかコンサート												

奈良が「若者等が創作活動に挑戦し成長できる土地」になることを目指し、クリエイティブな音楽活動を支援

① ムジークキャンプ

【概要】

・次代を担う若手演奏家を募集し、JNOメンバーによる滞在型演奏指導を実施

【日程】 令和8年 4日間程度

【会場(予定)】 ※調整中

【実施内容】

・最終日に演奏披露の場を設定
・JNOメンバーと共にアンサンブルを作り上げるプログラムを予定

【委託先】Japan National Orchestra株式会社(指導・練習内容検討)



② ムジーク・アーティストベース

【概要】

・ミートアップ参加者の声を反映し構築
・イベント主催者や音楽家同士を結びつけるプラットフォームを提供
・演奏家の活動支援及び演奏機会の拡大を図る

【日程(予定)】

・令和8年4月～通年運営

【実施内容】

・音楽家個人またはグループごとにフォーカスしたプラットフォームを作成
・音楽家のプロフィールを確認し、演奏依頼を簡易にできる仕組みを構築



③ 演奏家への練習場所の提供

【概要】

・県有施設の空き状況を有効活用し、演奏家への練習場所を提供
・奈良県内の音楽活動の活性化を目指す。
・地域バランスや交通アクセス等から選定した市営1施設を追加予定

【利用期間】

・県有施設利用開始 : 令和8年4月～
・市町営施設利用開始 : 令和8年5月～(予定)

【対象施設】

●県有施設

・奈良県橿原文化会館(小ホール)
・奈良公園バスターミナル(レクチャーホール)
・なら歴史芸術文化村(ホール)

●市町営施設(予定)

・なら100年会館(中ホール)
・大和高田さざんかホール(大ホール)
・大淀町文化会館(小・大ホール)
・県北部の市営1施設



令和8年 広報計画(案)

- ①音楽関係者、県外での認知度向上のための広報を継続実施
例)音楽専門雑誌(全国版)への広告 / 都市圏での駅構内デジタルサイネージ広報
- ②クリエイティブな音楽活動への支援のための広報を通年実施
再掲)ムジーク・アーティストベースによる広報プラットフォームの提供
- ③ショート動画(10秒程度)を活用したSNSによる広報の強化 **NEW**

※ムジークフェストならにおける、紙媒体／WEB／SNS等による「実行委員会主催コンサートの広報」や「5月～12月に実施される民間等主催公演との広報連携」も継続。